

ミャンマーからの最新情報 No, 3 をお知らせ致します。



トンテ村に行くには、近くに橋が無いのでヤンゴン市内にある船着き場からフェリーで（10分）対岸に渡ります。船賃は片道10チャット但し外国人は\$1

← 緑色の建物がフェリー乗り場



↑ フェリーと乗降客：朝夕はヤンゴン市内に通う通勤客で賑わい、昼間は、物売りや行商、物資の運搬で活気があり見てて厭きない（パンソーダン港）



↑ 対岸のダラに着きました
乗船客は左、下船客は右です

ここからジープで40分強走ったところがトンテ村（往復1時間30分の行程）



↑ ダラの船着き場前の広場です
白、赤のペンキの縁石はロータリーの一部です。交通の要所には、今もこうしたロータリーを良く見受けま
す。植民地時代の宗主国イギリスの名残です。



↑ ブルーのシャツの側にいる人は水売り
中央座っている人は惣菜売り
右はタバコ売り、タバコは1本より可



↑ スペアタイヤか？山がない！？

日本の中古車がほとんどです



ダラには、バス、タクシー乗り場が2カ所あります。この他セダンタイプのタクシーがありますが、人を満載させないと走らないようです。従って我々が2月に行った時は↓写真のジープ5台をチャーターしました。
対岸ダラは観光客がほとんど来ないため物売りは寄って来ませんでした



↑ ① 高層ビル ↑ ② 緑のロンジー ↑ ③ 自転車 ↑ ④ 日傘にピンクのロンジー

① 対岸ヤンゴン市内の高層ビル
② 緑のロンジーでバッグを下げている男性は学校の先生
③ 自転車は日本製がダントツ1番人気、丈夫な作りで壊れない
④ 日傘にピンクのロンジー姿は数少ないおしゃれな女性
大きなパラソルはすべて屋台、全部で4つ写ってます
後ろの建物は食堂や衣類、日用雑貨品等のお店が並ぶ

平成17年8月22日 日本からヤンゴンへ

Q：石鹸の寄附が144個届きました。現地生徒に持たせて上げたいのですが？

A：僧院や障害者むけの場所に寄附をすれば喜ばれます。

Q：うちわが241枚寄附されました。生徒に持たせればよろこびますか？

A：うちわですか！もちろん、日本のうちわであれば喜ぶと思いますが、うちわ自体はヤンゴンでも紙製で100チャット（約¥10）プラスチック製で300～500チャットです（約¥30～¥50）持っていく手間を考えると？・・・です。

下はミャンマーの紙幣です。変動相場制を採用してますのでレートが変更しますが1,000チャット=¥100が目安になります。

2月訪緬した際のレートが\$1=850チャット（\$対¥交換レート ¥108.70）

7月に学校建設資金を拠出した際は\$1=940チャット（\$対¥交換レート ¥113.42）

ミャンマーの紙幣は持ち出し禁止です。そんな理由でヤンゴンよりメールにて送信してもらいました。



最高額の1,000Kyat（チャット）紙幣
日本の1万円札より若干大きめです



500チャット、
額が小さくなると紙幣の大きさが
少しずつ小さくなります



200チャット



100チャット（約¥10）

上記4種類が我々観光客が手にする紙幣ですが、他の少額紙幣は見ませんでした。

Q：100チャット以下の紙幣や硬貨は有りますか？

A：コインはほとんど使用されてません。紙幣は50、20、10、5、1チャットが今でも使われてます。私もスーパーの買い物の際のお釣りに良く貰ってます。以前は90、75、45、15チャット札も有りましたが現在これらのお札、コインは作ってません。

ミャンマーは基本的にチップ不要ですが、ホテルのベットメイキングだけは、300～500チャットのチップをとガイドのTUNさんからお願いされました。おそらく、それが給料になるのでしょう。

慰霊と教育支援に加えて、西村眞悟団長始め我々は、19万英霊がお世話になっているこの国の人々に対し喜捨と奉仕の精神で感謝を込め、慰霊碑の管理人、小学校の先生、ミャンマー民族舞踊の踊り子や人形使い、お祭りの寄附呼びかけに寸志を差し上げてきました。

平成17年8月12日 ヤンゴン金澤氏より

トンテの学校建設は、地元の連中と半分けんか腰で何とか工事を始めております。この小学校建設は地元では利益誘導の一大プロジェクトのようで、兎に角たかりまなす。知り合いの空手の黒帯に現場監督を頼んでます。でないとなんか金もななくなりま。建設会社は好意なのかどうか知りませんが、現地の学校の先生の意向で一番良い物を使おうとしますし、何か皆さんの善意のお金と言うことを忘れていようです。撮影した写真全部で9枚を何回かに分けて送らせて頂きます。

日本よりヤンゴンへ：中国やベトナムみたいに役人の賄賂で消えるより全然ましですよ。千載一遇のチャンスを生かそうとする貧しさを感じますが、写真を見る限りのんびりした風景ですね。



↑ 小学校建設現場正面全景、ファヤンゴエト通りより撮影
学校所有地0.32エーカー=1,295㎡=約392坪
校舎面積30フィート(9.1m)×60フィート(18.2m)=165㎡=約50坪
拋出した日本円1,247,620(机、椅子、黒板含む)



←は民家

←は竹製の足場

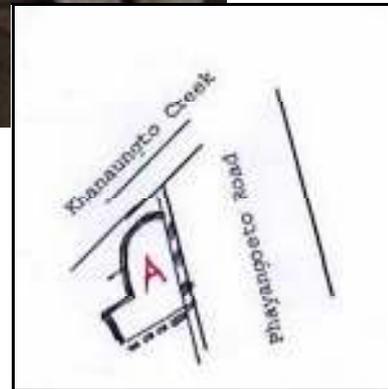
現在ミャンマーは雨期(5月下旬～10月中旬)のため、周りは水溜まり外は蒸し暑い。特に学校を作っている場所は水田だった所を埋め立てているので無茶苦茶蒸します。

8月のヤンゴン周辺の気候は温度27℃ 湿度86% 降水量476.8mm



←の高台は
フアヤンゴエ
ト通り

セメント他建設資材 ↑床に敷かれているのは砂



Aは学校建設現場



日干しレンガ積み作業



テラス部分の埋め込み作業
次頁の袋詰め土です



後ろは民家、手前はカノート川に掛かる橋、更に手前は粘土質の土の袋詰め作業

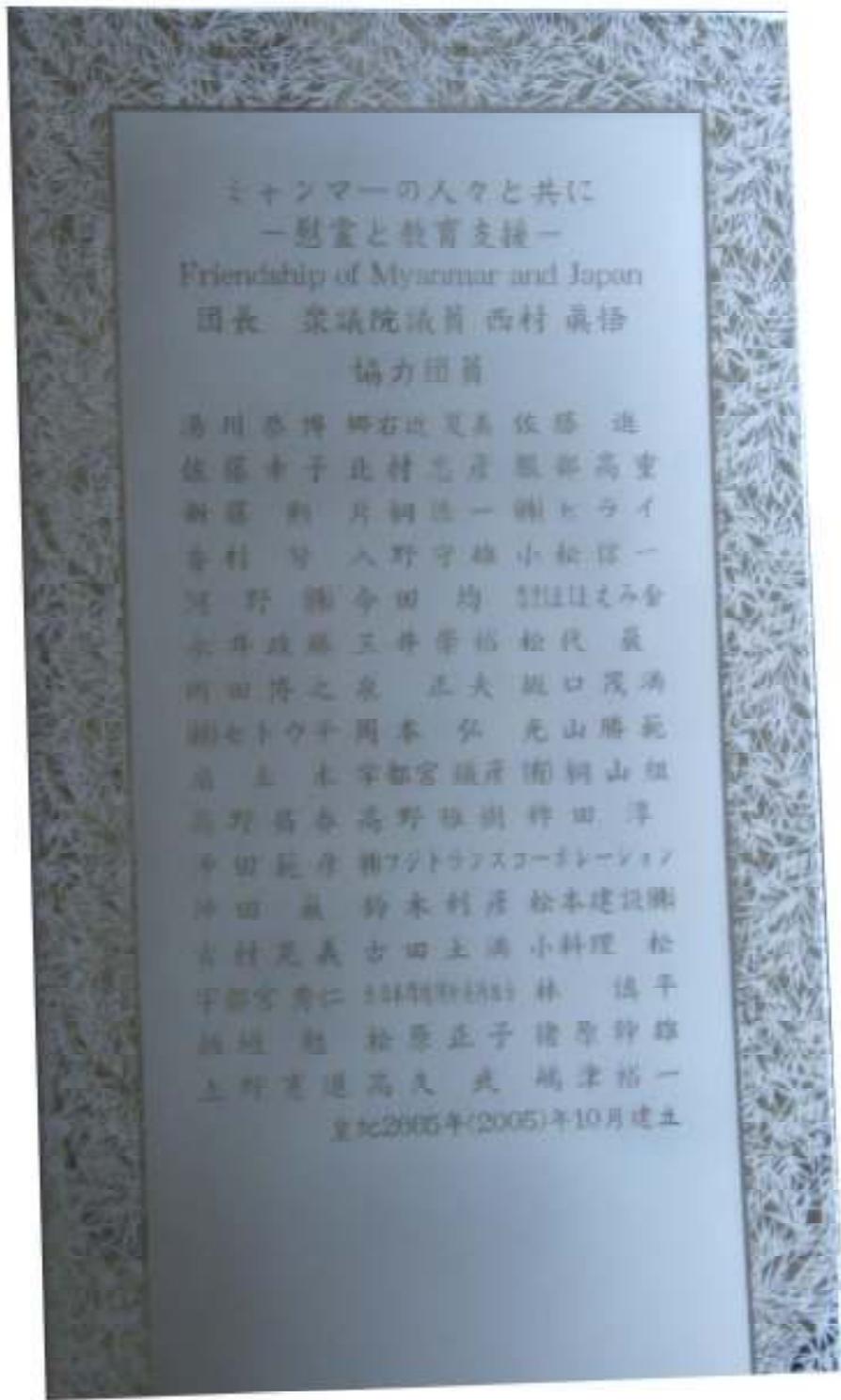
現場監督と大工はヤンゴンからで、土方はトンテ村の人達です。1日10人程が働いて、女性も雇っています。土方の賃金は1日1,500チャット日本円で約¥180です。(交換レート \$ 1 = 940チャット \$ 対 ¥ 交換レート = ¥ 113.42)



写真手前は女性作業員、日干しレンガの搬入作業、とにかく頼りは手と足

60数年前の戦時中、こうした暑さぬかるみと湿気と泥濘はいのうの中、40キロの背囊を背負い徒歩で行軍した日本兵が偲ばれます。

平成17年9月7日 銘板が完成しました。
 8月22日ヤンゴンから1ヶ月、現地建設会社の話に依ると学校の学
 10月予定の協力を頂いたが、9月8日の銘板の製作に
 が普通の助考を30年で1m前は賛助戴いた月日に順に記



9月8日 澤さ
 んが来日、持
 ママ一に貫い
 ン行てと言ま
 た。は工し事
 のっ途れ費ま
 別さ銘板の設
 銘れるた可
 進るの行能
 断ししたか
 断

銘板のしマか学例協築しれ現おにくたど可まのこ員団るミのま育のしこ置マ衝
 のしマか学例協築しれ現おにくたど可まのこ員団るミのま育のしこ置マ衝
 緯しヤン省小た助新はさが、に省行で、許いら？議がいてる府れ教稿出の設ン折
 関ミ教育立し贊を可否たんに、にかまち！！国会さんてす政わ、原提出の設ン折
 府公置、校許拒しと澤し教提出頼目訳しこち国さっ対一思し、銘訳さしたミ省ま
 置に、府に無でてもいい金い類ご3い出たりは、西に体ン慮。に文下で所教
 説明は政に力しない地願書度らうがし粘れの長団るミのま育のしこ置マ衝
 板に、府に無でてもいい金い類ご3い出たりは、西に体ン慮。に文下で所教
 設置に、府に無でてもいい金い類ご3い出たりは、西に体ン慮。に文下で所教
 設置に、府に無でてもいい金い類ご3い出たりは、西に体ン慮。に文下で所教